

10. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 基本属性

① 調査票の記入者 (問2)

調査票の記入者は、「本人が記入」が 90.6%、「家族が記入」が 3.9%となっている。



② 性別 (問3)

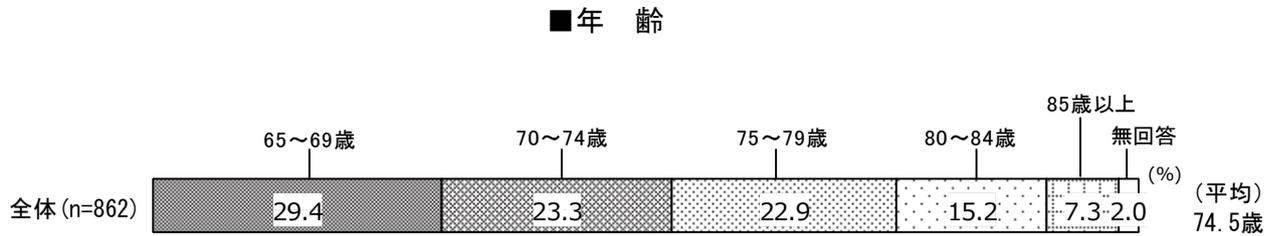
性別は、「男性」が 42.3%、「女性」が 56.3%となっている。



第2章 各調査の結果

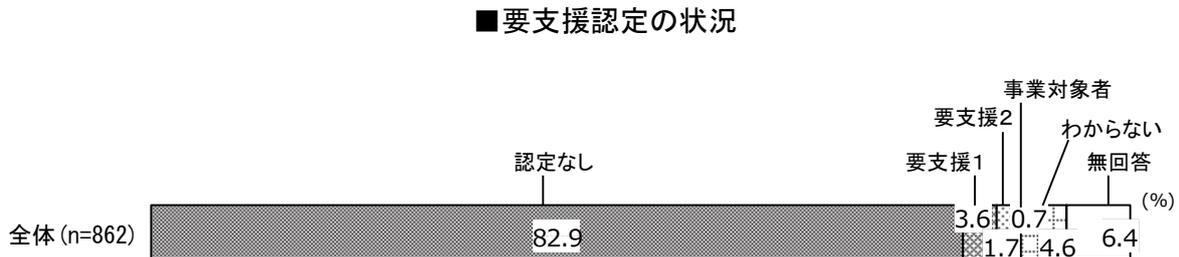
③ 年齢（問4）

年齢は、「65～69歳」（29.4%）が最も多く、「70～74歳」（23.3%）、「75～79歳」（22.9%）と続いている。なお、前期高齢者は52.7%、後期高齢者は45.4%、平均74.5歳となっている。



④ 要支援認定の状況（問5）

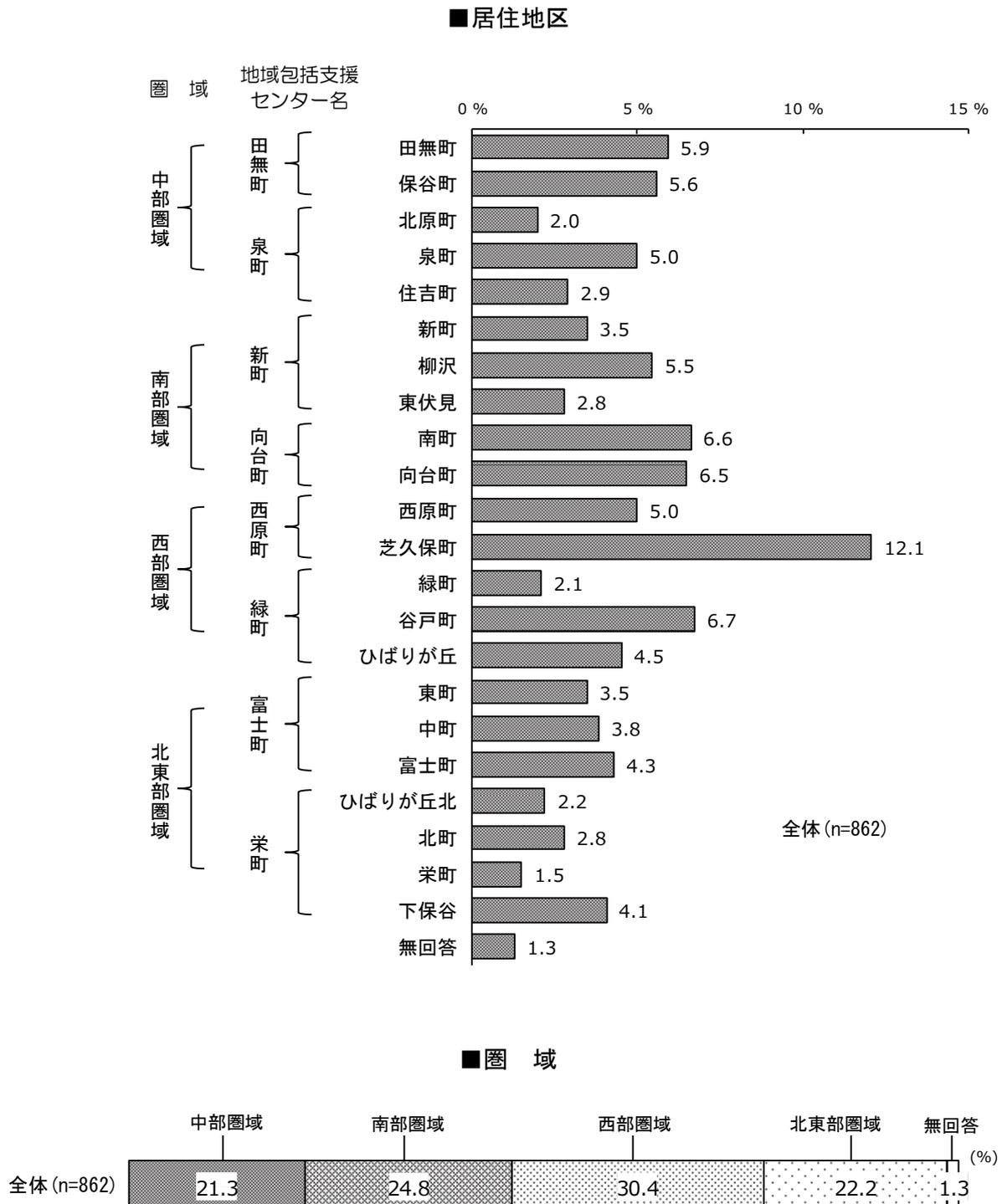
要支援認定の状況は、「認定なし」（82.9%）が最も多く、「要支援1」が3.6%、「要支援2」が1.7%、「事業対象者」が0.7%となっている。



⑤ 居住地区（問6）

居住地区は、「芝久保町」（12.1%）が最も多く、「谷戸町」（6.7%）、「南町」（6.6%）と続いている。

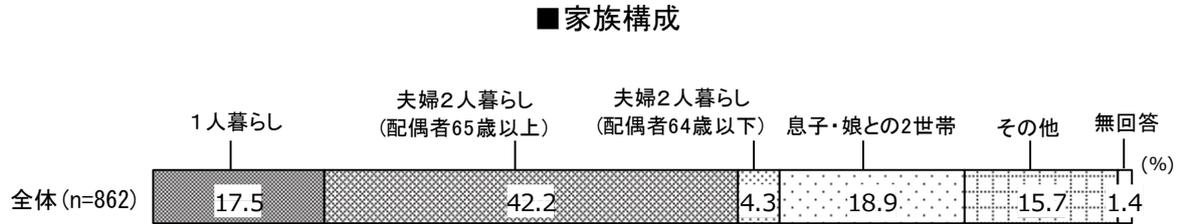
圏域別にみると、「西部圏域」（30.4%）が最も多く、「南部圏域」（24.8%）、「北東部圏域」（22.2%）、「中部圏域」（21.3%）と続いている。



(2) 家族や生活状況

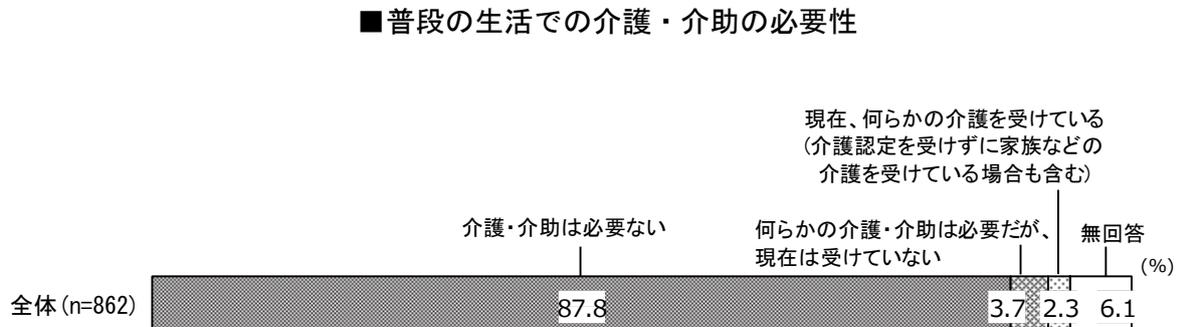
① 家族構成 (問7)

家族構成は、「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」(42.2%) が最も多く、「息子・娘との2世帯」(18.9%)、「1人暮らし」(17.5%) と続いている。



② 普段の生活での介護・介助の必要性 (問8)

普段の生活での介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」(87.8%) が最も多く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 3.7%、「現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が 2.3% となっている。

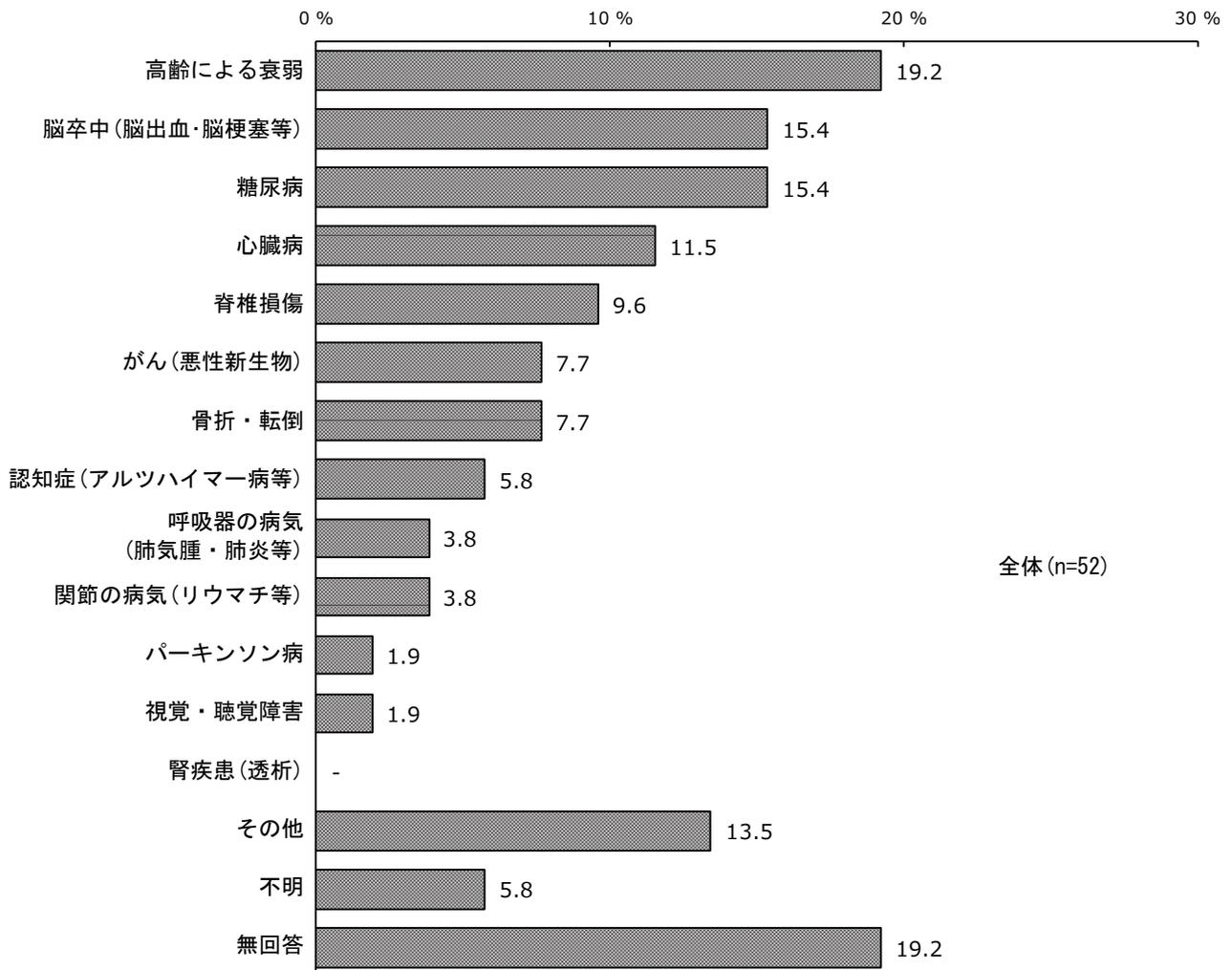


③ 介護・介助が必要になった主な原因（問8付問1）

介護・介助が必要な人（問8で「介護・介助は必要ない」以外に回答した人）の必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」（19.2%）が最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「糖尿病」（ともに15.4%）が多くなっている。

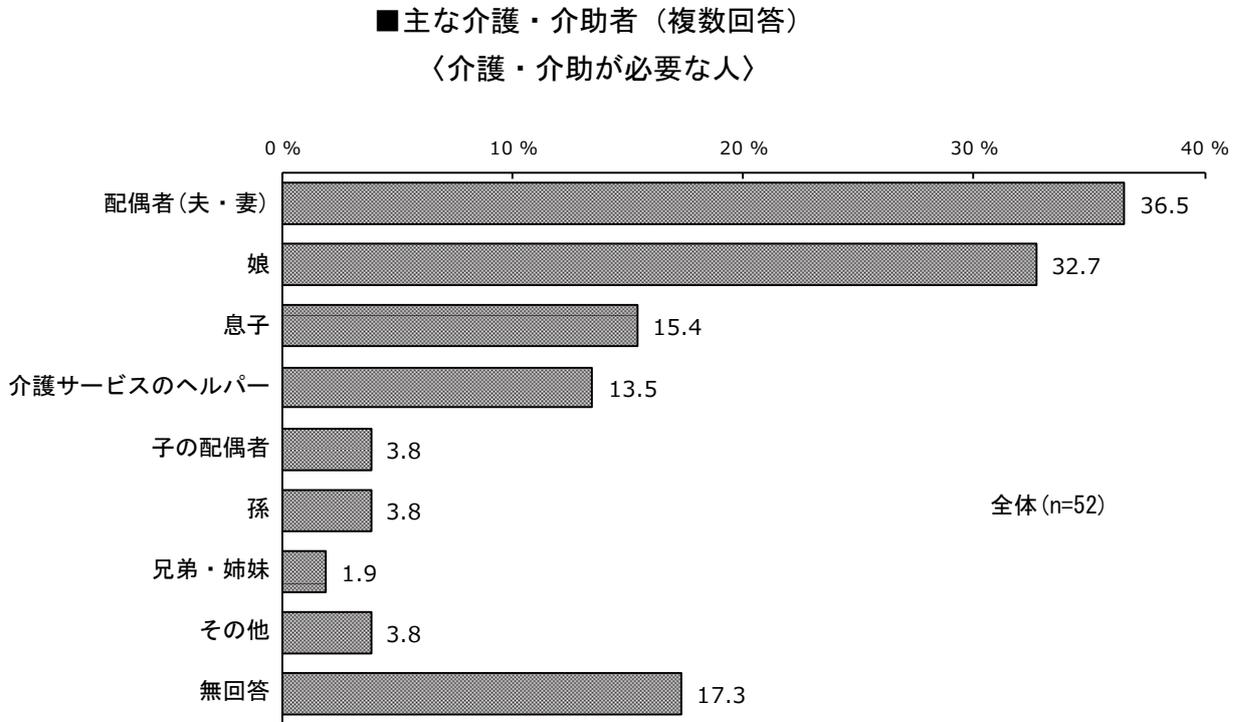
■ 介護・介助が必要になった主な原因（複数回答）

〈介護・介助が必要な人〉



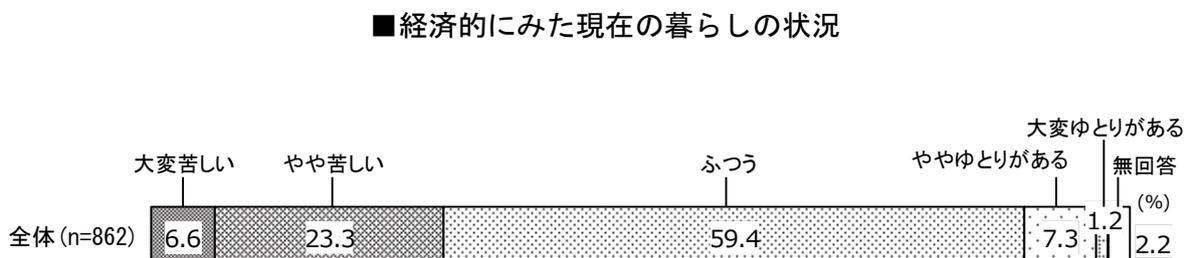
④ 主な介護・介助者（問8付問2）

介護・介助が必要な人（問8で「介護・介助は必要ない」以外に回答した人）の主な介護・介助者は、「配偶者（夫・妻）」（36.5%）が最も多く、次いで「娘」（32.7%）が多くなっている。



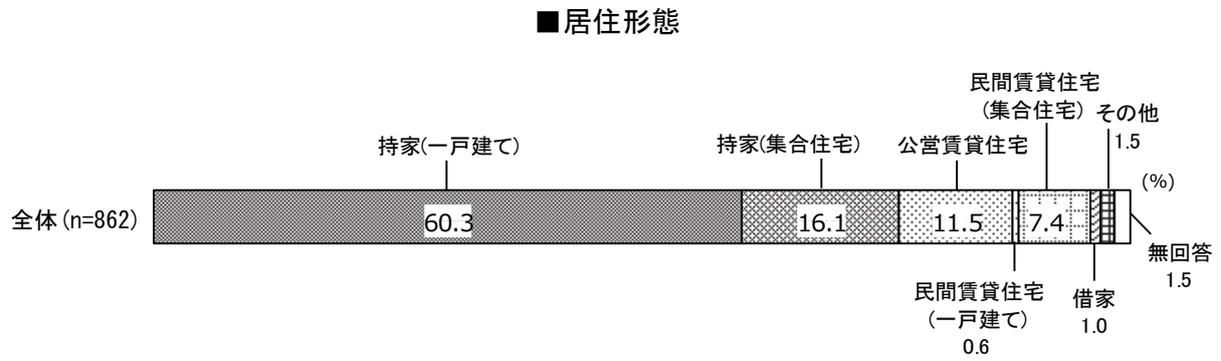
⑤ 経済的にみた現在の暮らしの状況（問9）

経済的にみた現在の暮らしの状況は、“苦しい”（「大変苦しい」「やや苦しい」の合計）が29.9%、“ゆとりがある”（「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」の合計）が8.5%となっている。



⑥ 居住形態（問 10）

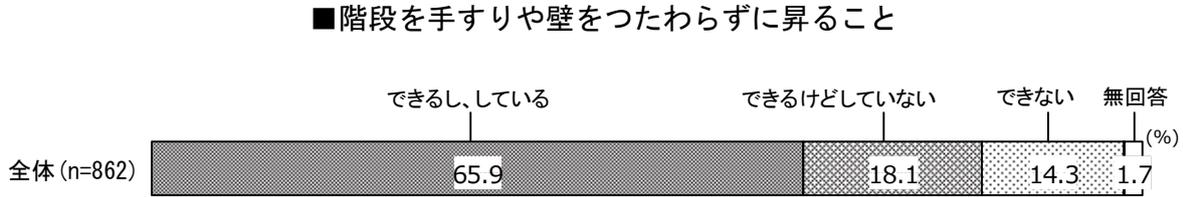
居住形態は、「持家（一戸建て）」（60.3%）が最も多く、「持家（集合住宅）」（16.1%）、
「公営賃貸住宅」（11.5%）と続いている。



(3) からだを動かすこと

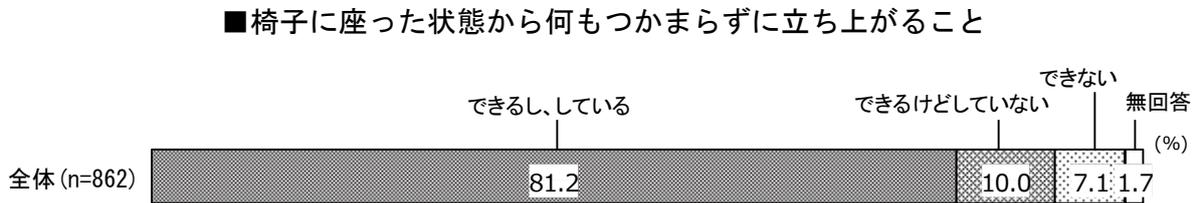
① 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること (問 11)

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることは、「できるし、している」(65.9%)が最も多く、「できるけどしていない」(18.1%)、「できない」(14.3%)と続いている。



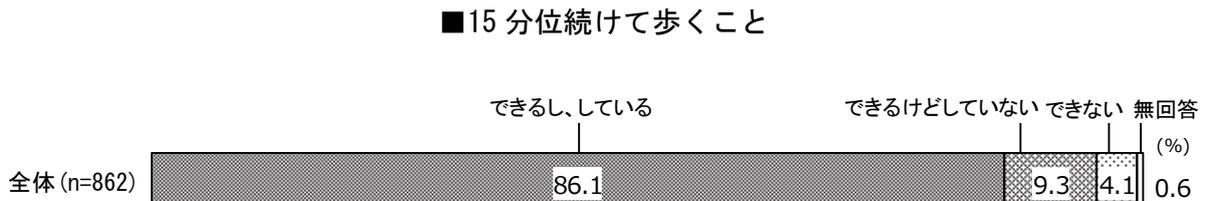
② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること (問 12)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることは、「できるし、している」(81.2%)が最も多く、「できるけどしていない」(10.0%)、「できない」(7.1%)と続いている。



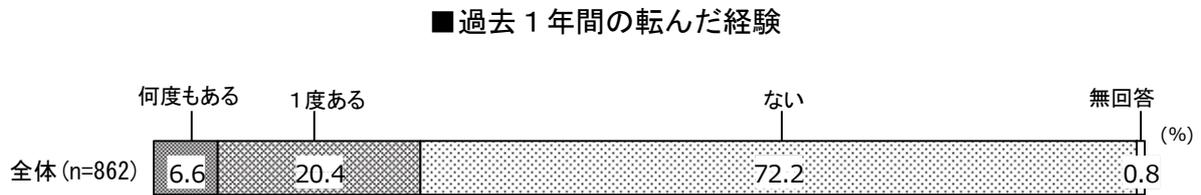
③ 15分位続けて歩くこと (問 13)

15分位続けて歩くことは、「できるし、している」(86.1%)が最も多く、「できるけどしていない」(9.3%)、「できない」(4.1%)と続いている。



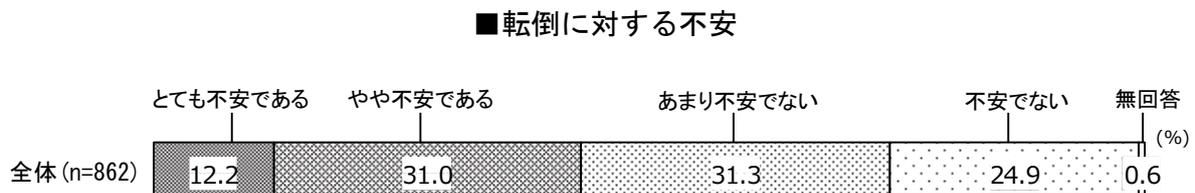
④ 過去1年間の転んだ経験（問14）

過去1年間の転んだ経験は、「何度もある」が6.6%、「1度ある」が20.4%、「ない」が72.2%となっている。



⑤ 転倒に対する不安（問15）

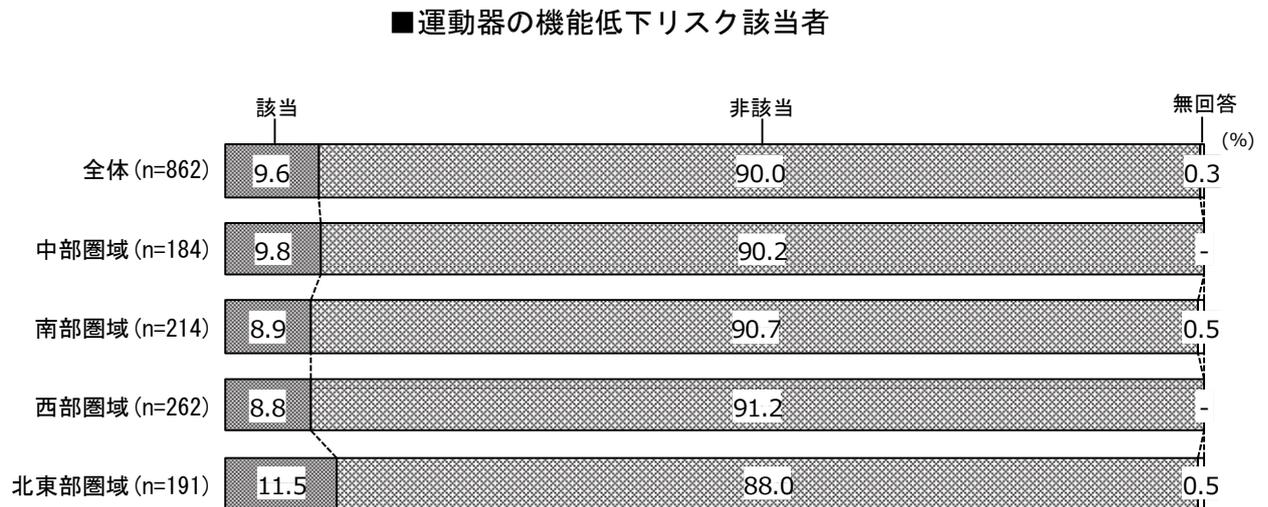
転倒に対する不安は、“不安である”（「とても不安である」「やや不安である」の合計）が43.2%、“不安でない”（「あまり不安でない」「不安でない」の合計）が56.2%となっている。



⑥ 運動器の機能低下リスク該当者

運動器の機能低下リスク該当者（問 11～問 13 で「できない」、問 14 で「何度もある」「1度ある」、問 15 で「とても不安である」「やや不安である」と回答した人のうち、5問中3問以上該当している人）は9.6%となっている。

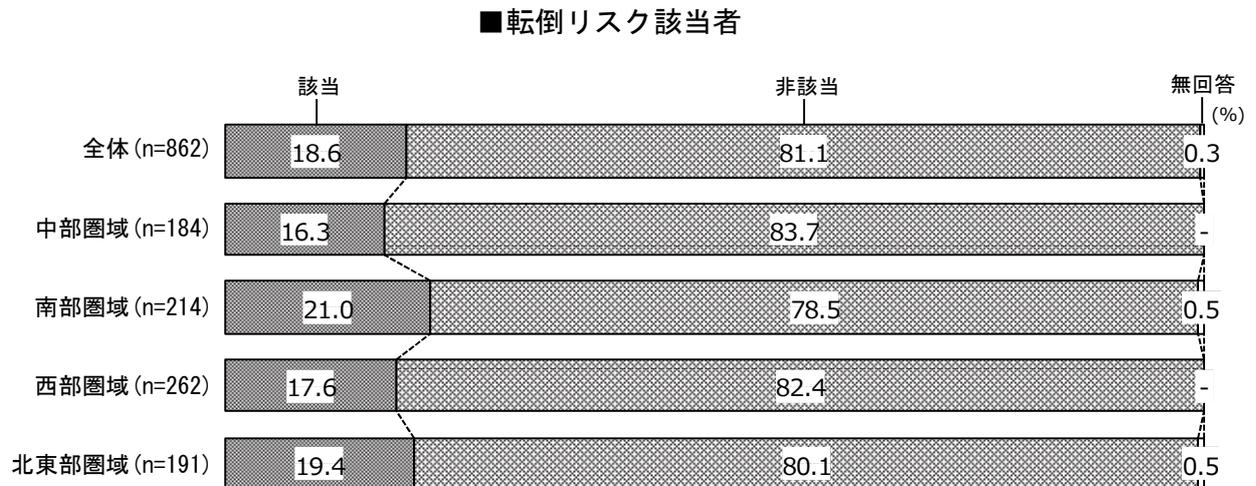
圏域別にみると、北東部圏域の「該当」（11.5%）が他の圏域に比べてやや多くなっている。



⑦ 転倒リスク該当者

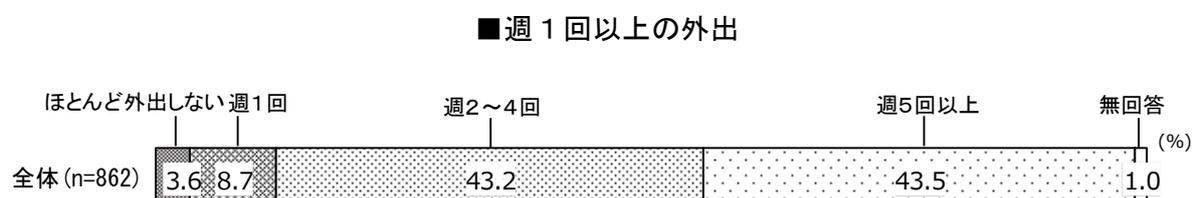
転倒リスク該当者（問 14 で「何度もある」「1度ある」と回答し、かつ問 15 で「とても不安である」「やや不安である」と回答した人）は18.6%となっている。

圏域別にみると、南部圏域の「該当」（21.0%）が他の圏域に比べてやや多くなっている。



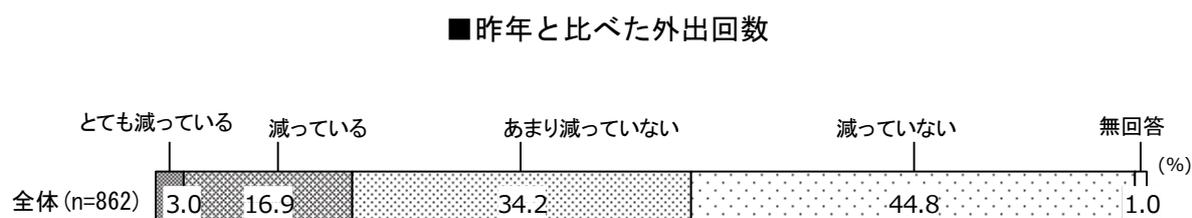
⑧ 週1回以上の外出（問16）

週1回以上の外出は、「週5回以上」（43.5%）と「週2～4回」（43.2%）が多くなっており、「週1回」は8.7%、「ほとんど外出しない」は3.6%となっている。



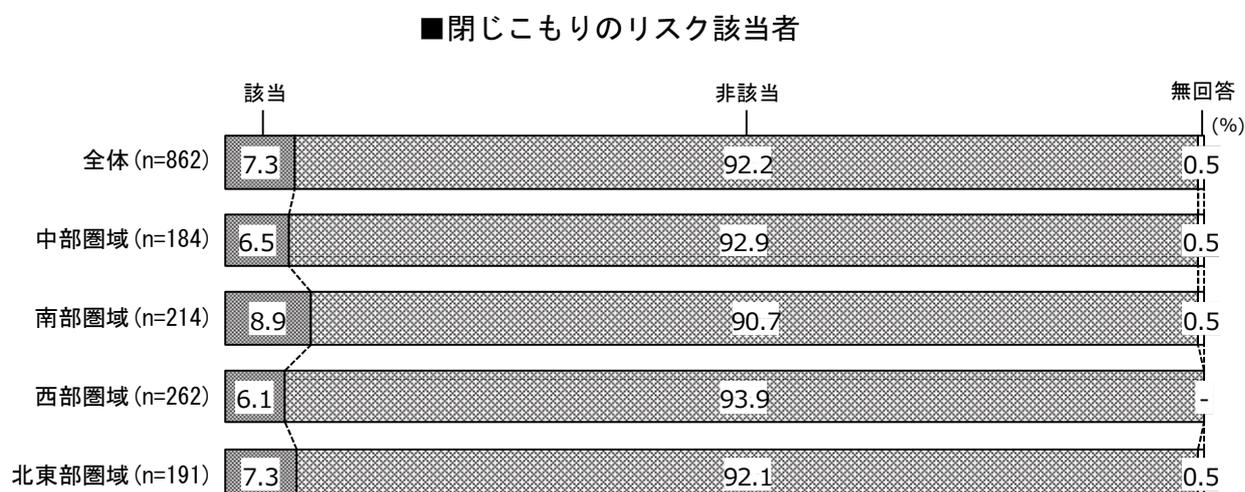
⑨ 昨年と比べた外出回数（問17）

昨年と比べた外出回数は、“減っている”（「とても減っている」「減っている」の合計）が19.9%、“減っていない”（「あまり減っていない」「減っていない」の合計）が79.0%となっている。



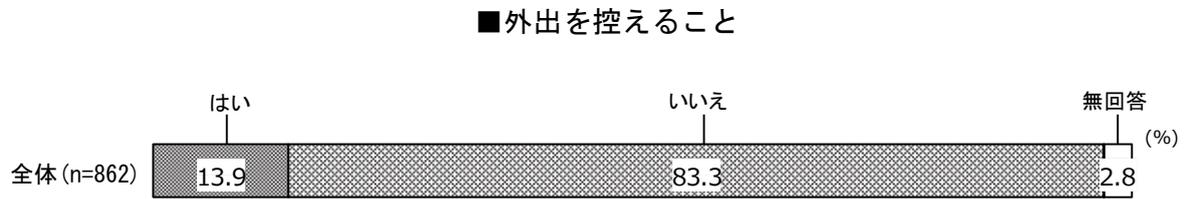
⑩ 閉じこもりのリスク該当者

閉じこもりのリスク該当者（問16で「ほとんど外出しない」「週1回」と回答し、かつ問17で「とても減っている」「減っている」と回答した人）は7.3%となっている。



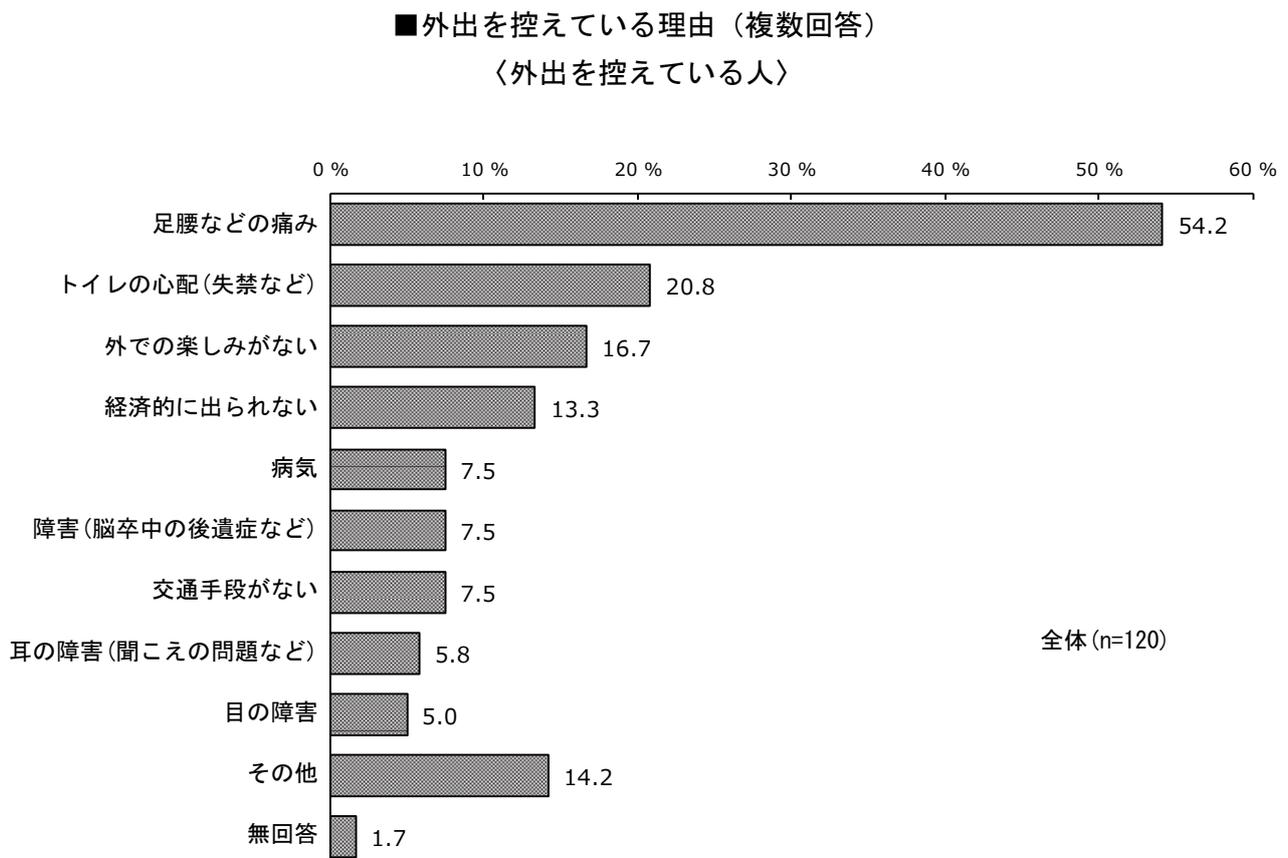
⑪ 外出を控えること（問18）

外出を控えることは、「はい」（控えている）が13.9%、「いいえ」（控えていない）が83.3%となっている。



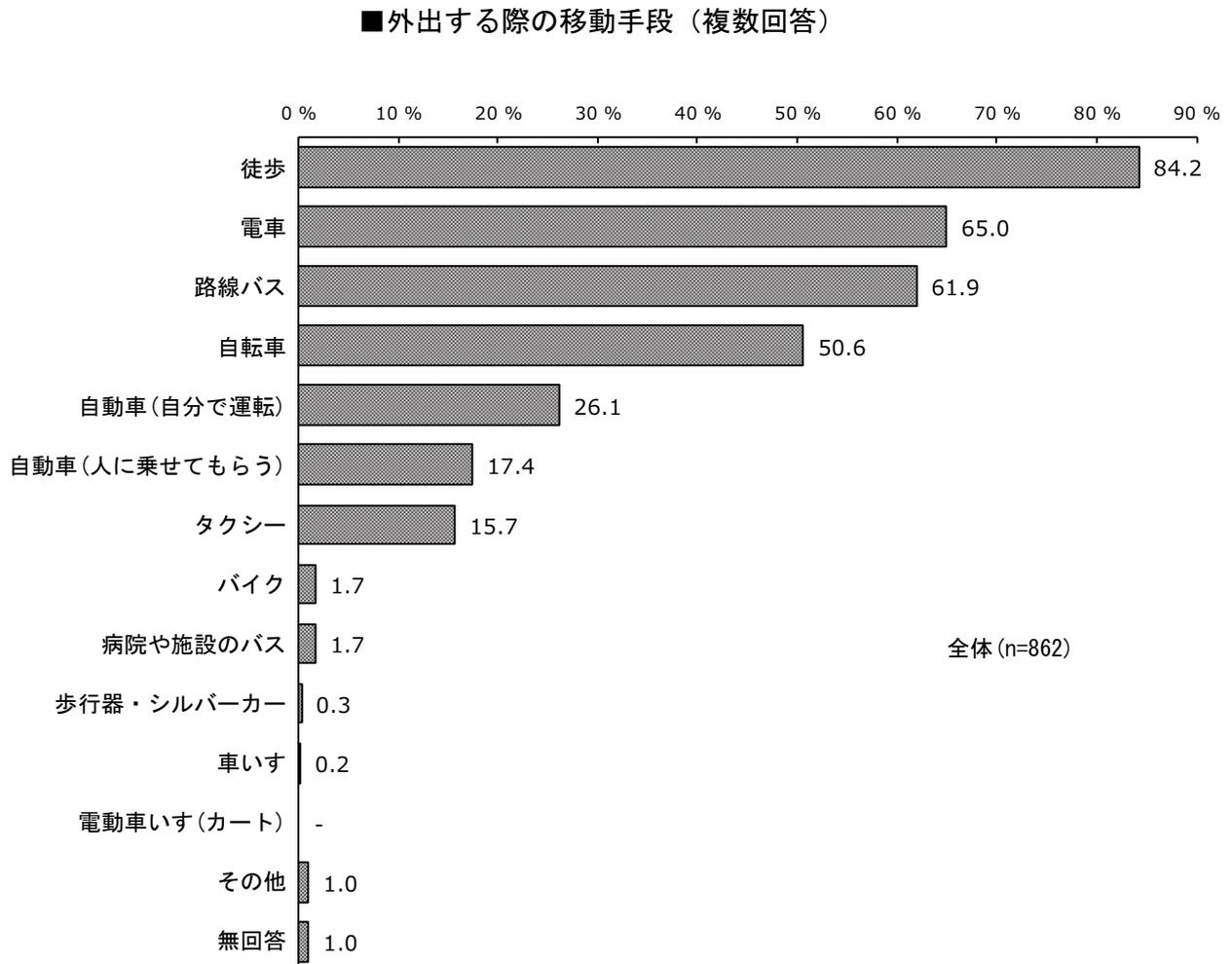
⑫ 外出を控えている理由（問18付問）

外出を控えている人（問18で「はい」と回答した人）の理由は、「足腰などの痛み」（54.2%）が最も多く、「トイレの心配（失禁など）」（20.8%）、「外での楽しみがない」（16.7%）と続いている。



⑬ 外出する際の移動手段（問 19）

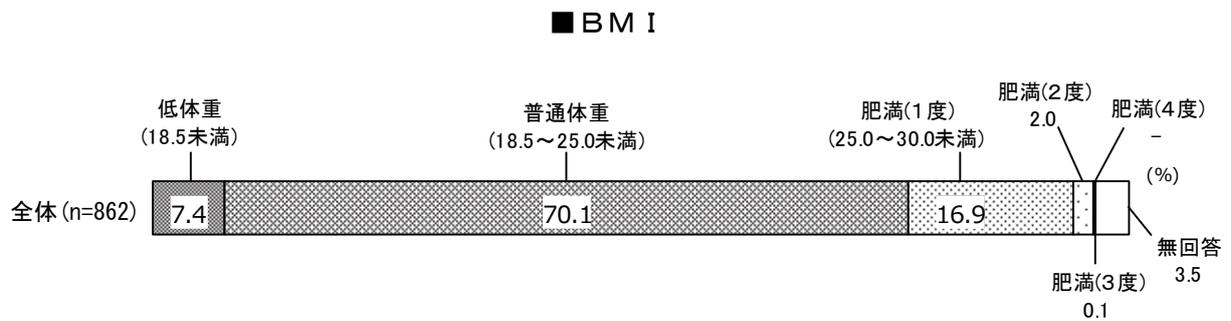
外出する際の移動手段は、「徒歩」（84.2%）が最も多く、「電車」（65.0%）、「路線バス」（61.9%）と続いている。



(4) 食べること

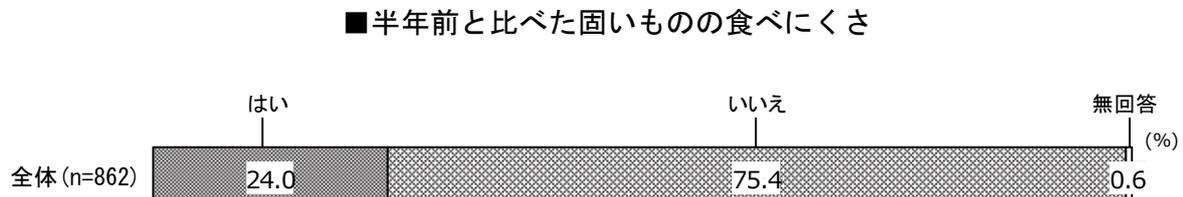
① BMI (Body Mass Index (肥満指数) の略) (問 20)

身長、体重から算出したBMIは、「普通体重 (18.5~25.0 未満)」(70.1%) が最も多く、「肥満 (1度) (25.0~30.0 未満)」(16.9%)、「低体重 (18.5 未満)」(7.4%) と続いている。



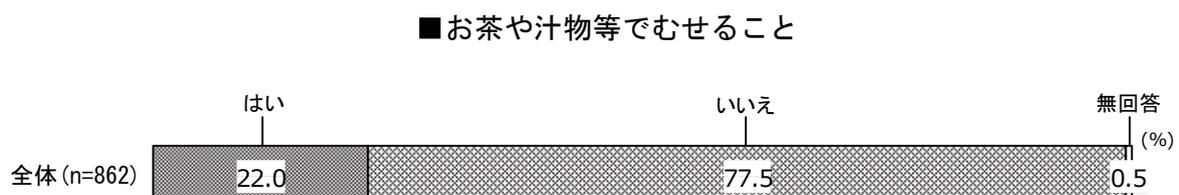
② 半年前と比べた固いものの食べにくさ (問 21)

半年前と比べた固いものの食べにくさは、「はい」(食べにくくなった)が24.0%、「いいえ」(食べにくくなっていない)が75.4%となっている。



③ お茶や汁物等でむせること (問 22)

お茶や汁物等でむせることは、「はい」(ある)が22.0%、「いいえ」(ない)が77.5%となっている。



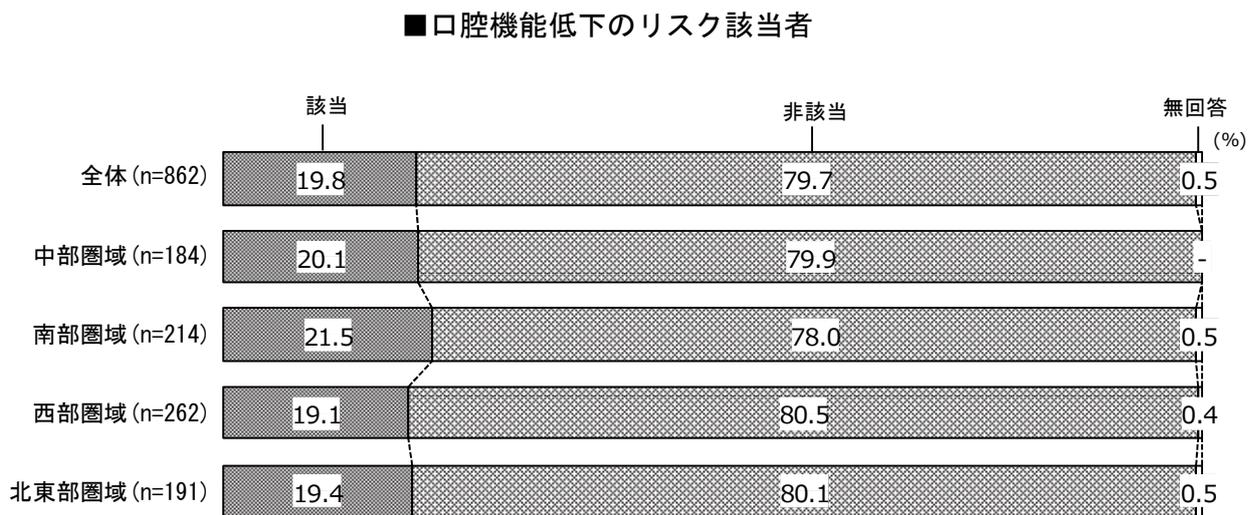
④ 口の渇き（問 23）

口の渇きは、「はい」（気になる）が 24.4%、「いいえ」（気にならない）が 74.9%となっている。



⑤ 口腔機能低下のリスク該当者

口腔機能低下のリスク該当者（問 21～問 23 で「はい」と回答した人のうち、3問中2問以上該当している人）は 19.8%となっている。



⑥ 毎日の歯磨き（人にやってもらう場合も含む）（問 24）

毎日の歯磨きは、「はい」（している）が 91.2%、「いいえ」（していない）が 8.4%となっている。



第2章 各調査の結果

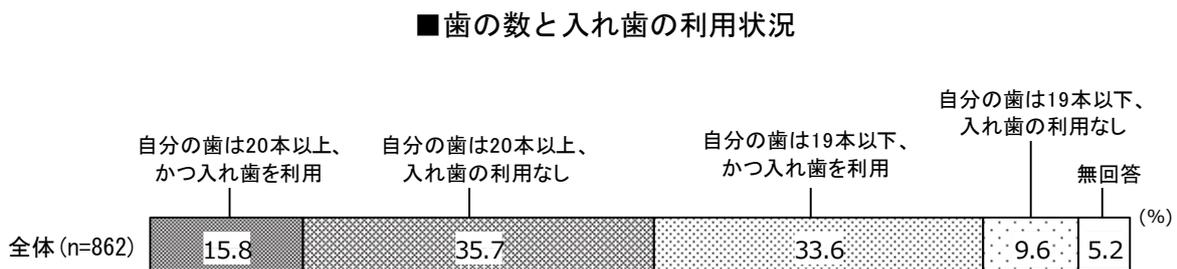
⑦ 噛み合わせ (問 25)

噛み合わせは、「はい」(良い)が77.3%、「いいえ」(良くない)が20.3%となっている。



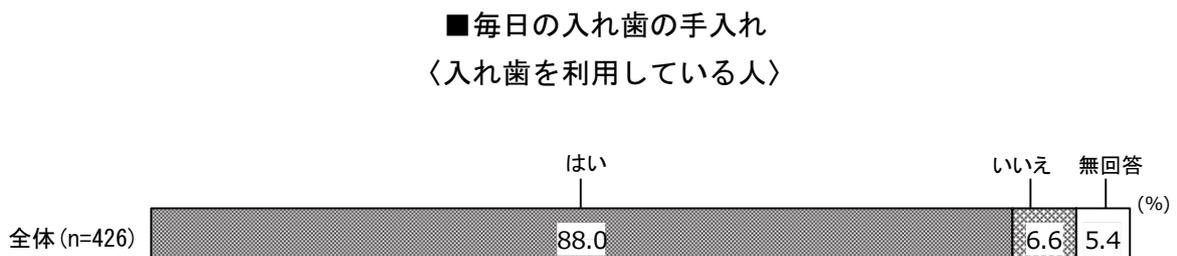
⑧ 歯の数と入れ歯の利用状況 (問 26)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(35.7%)が最も多く、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(33.6%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(15.8%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(9.6%)と続いている。



⑨ 毎日の入れ歯の手入れ (問 26 付問)

入れ歯を利用している人(問 26 で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した人)の毎日の入れ歯の手入れは、「はい」(している)が88.0%、「いいえ」(していない)が6.6%となっている。



⑩ 6か月間での2～3kg以上の体重減少（問27）

6か月間での2～3kg以上の体重減少は、「はい」（あった）が9.6%、「いいえ」（なかった）が89.1%となっている。

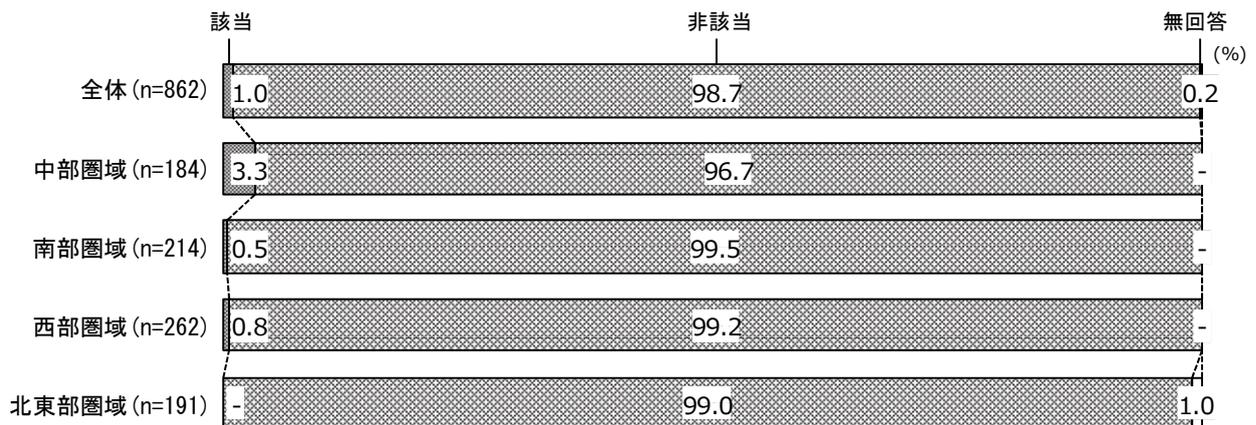
■ 6か月間での2～3kg以上の体重減少



⑪ 低栄養のリスク該当者

低栄養のリスク該当者（BMI18.5以下（問20）で、かつ問27で「はい」と回答した人）は1.0%となっている。

■ 低栄養のリスク該当者



⑫ 誰かと食事をとにもする機会（問28）

誰かと食事をとにもする機会は、「毎日ある」（53.7%）が最も多く、次いで「月に何度かある」（20.2%）が多くなっており、「ほとんどない」は6.7%となっている。

■ 誰かと食事をとにもする機会



(5) 毎日の生活

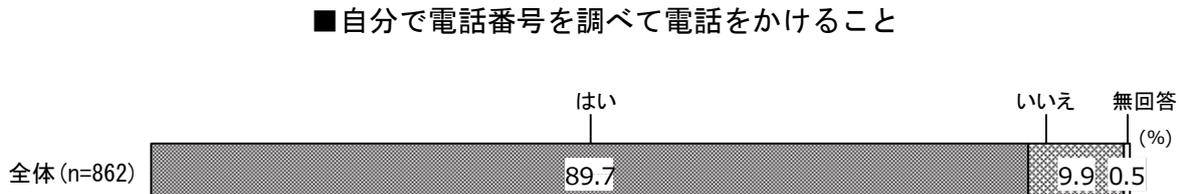
① 物忘れの多さ (問 29)

物忘れの多さは、「はい」(多いと感じる)が37.9%、「いいえ」(多いと感じない)が61.1%となっている。



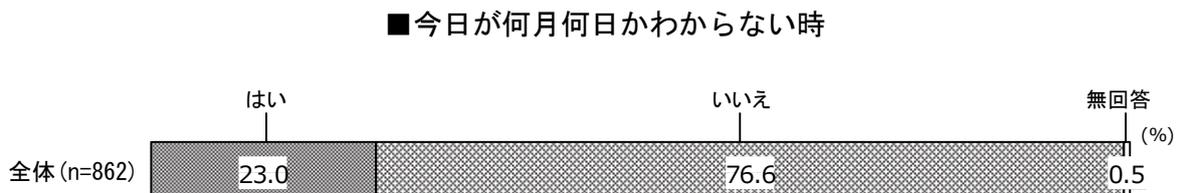
② 自分で電話番号を調べて電話をかけること (問 30)

自分で電話番号を調べて電話をかけることは、「はい」(している)が89.7%、「いいえ」(していない)が9.9%となっている。



③ 今日が何月何日かわからない時 (問 31)

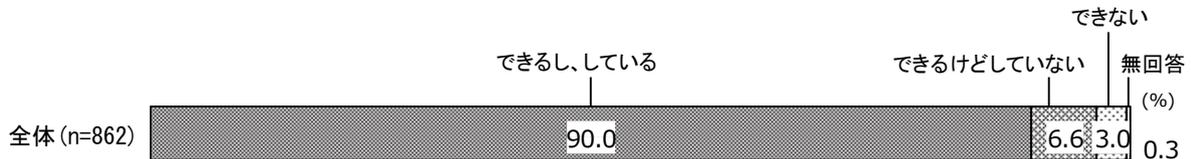
今日が何月何日かわからない時は、「はい」(ある)が23.0%、「いいえ」(ない)が76.6%となっている。



④ バスや電車を使って1人で外出すること（自家用車でも可）（問 32）

バスや電車を使って1人で外出することは、「できるし、している」(90.0%)が最も多く、「できるけどしていない」(6.6%)、「できない」(3.0%)と続いている。

■バスや電車を使って1人で外出すること（自家用車でも可）



⑤ 自分で食品・日用品の買物をする事（問 33）

自分で食品・日用品の買物をする事は、「できるし、している」(88.1%)が最も多く、「できるけどしていない」(9.7%)、「できない」(1.9%)と続いている。

■自分で食品・日用品の買物をする事



⑥ 自分で食事の用意をする事（問 34）

自分で食事の用意をする事は、「できるし、している」(74.8%)が最も多く、「できるけどしていない」(20.5%)、「できない」(4.3%)と続いている。

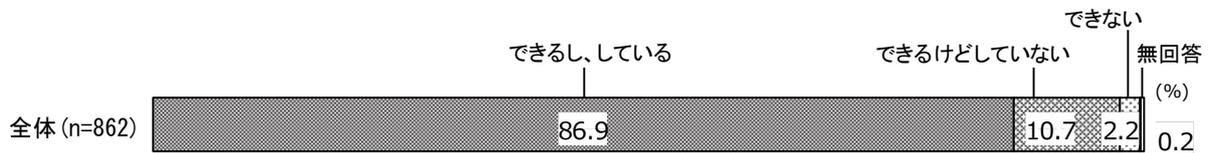
■自分で食事の用意をする事



⑦ 自分で請求書の支払いをすること（問35）

自分で請求書の支払いをすることは、「できるし、している」(86.9%)が最も多く、「できるけどしていない」(10.7%)、「できない」(2.2%)と続いている。

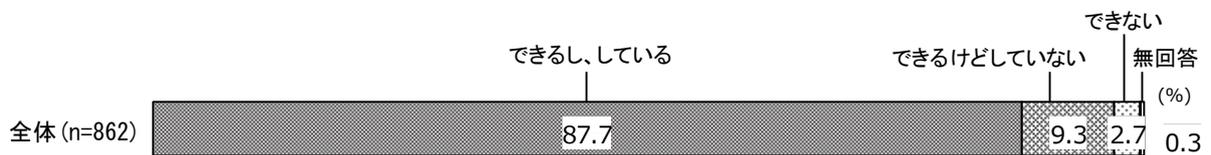
■自分で請求書の支払いをすること



⑧ 自分で預貯金の出し入れをすること（問36）

自分で預貯金の出し入れをすることは、「できるし、している」(87.7%)が最も多く、「できるけどしていない」(9.3%)、「できない」(2.7%)と続いている。

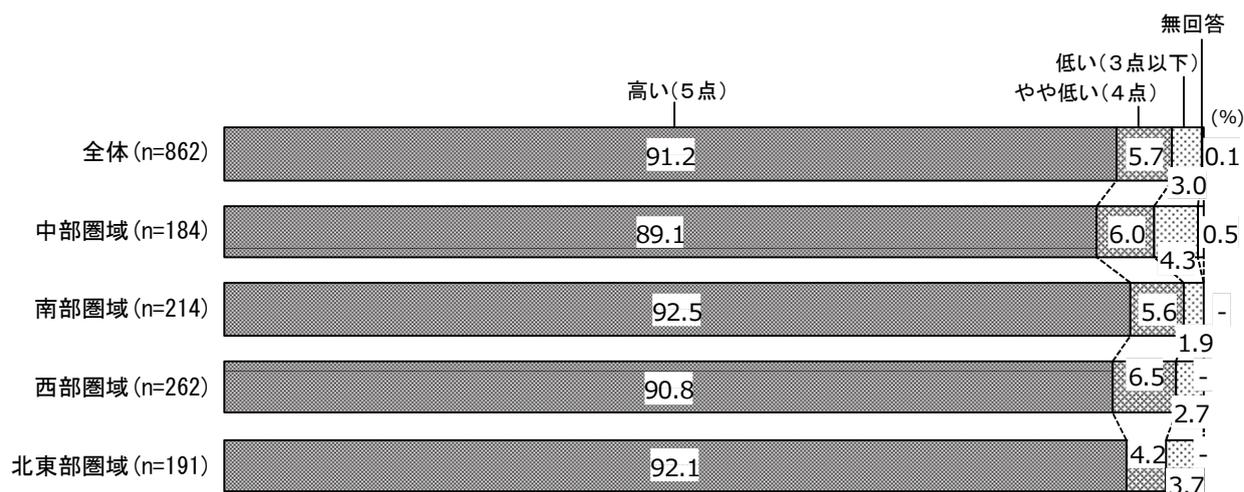
■自分で預貯金の出し入れをすること



⑨ 手段的日常生活動作（IADL）

手段的日常生活動作（IADL）（問32～問36で「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した人に1点、「できない」と回答した人に0点を加点）は、「高い（5点）」が91.2%、「低い」（「やや低い（4点）」「低い（3点以下）」の合計）が8.7%となっている。

■手段的日常生活動作（IADL）

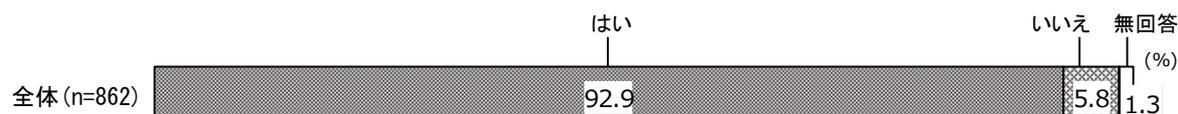


※ IADLとは、モノや道具を使ってする生活能力のことをいう。ADL（日常生活動作）が、自立して生活するための基本的な身体的動作（食事、入浴、排泄など）を指しているのに対し、IADLはより広義で、日常の動作より応用的な動作が必要な活動（バスに乗って買い物に行く、食事の支度をする、電話をかけるなど）を指している。

⑩ 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）の記入（問37）

年金などの書類の記入は、「はい」（書ける）が92.9%、「いいえ」（書けない）が5.8%となっている。

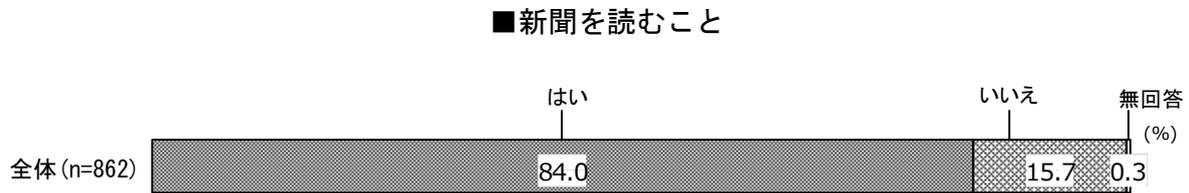
■年金などの書類（役所や病院などに出す書類）の記入



第2章 各調査の結果

⑪ 新聞を読むこと（問 38）

新聞を読むことは、「はい」（読んでいる）が 84.0%、「いいえ」（読んでいない）が 15.7%となっている。



⑫ 本や雑誌を読むこと（問 39）

本や雑誌を読むことは、「はい」（読んでいる）が 80.2%、「いいえ」（読んでいない）が 19.1%となっている。



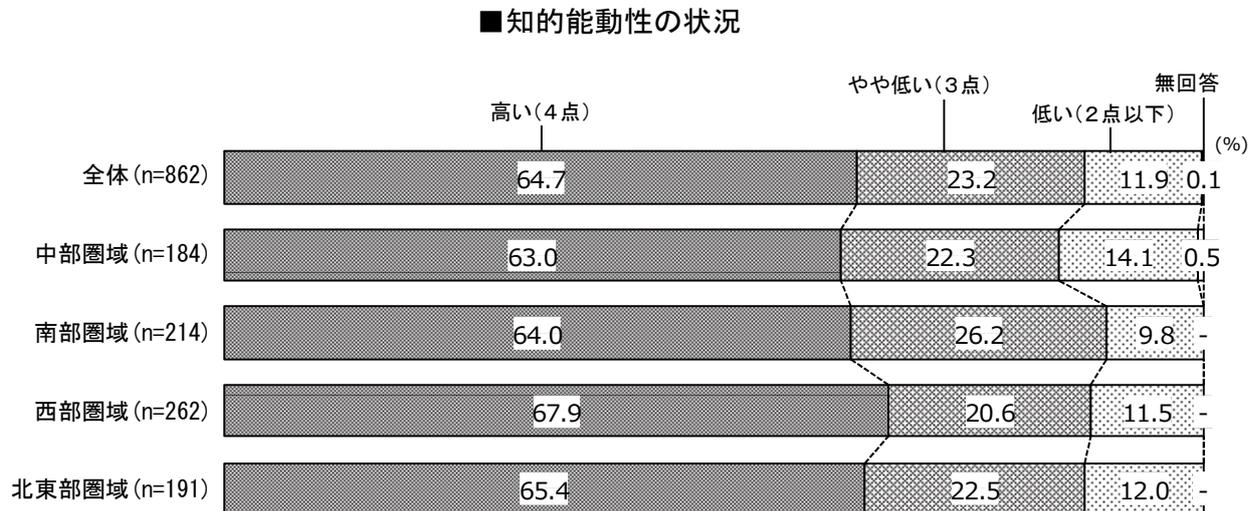
⑬ 健康についての記事や番組への関心（問 40）

健康についての記事や番組への関心は、「はい」（ある）が 91.0%、「いいえ」（ない）が 8.5%となっている。



⑭ 知的能動性の状況

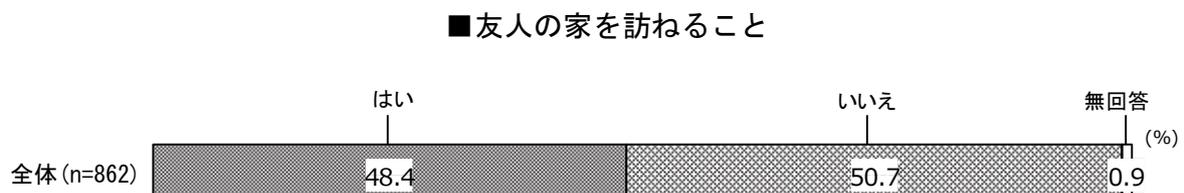
知的能動性の状況（問 37～問 40 の老研式活動能力指標に準じた高齢者の知的活動に関する設問で「はい」と回答した人に 1 点、「いいえ」と回答した人に 0 点を加点）は、「高い（4 点）」が 64.7%、「低い」（「やや低い（3 点）」「低い（2 点以下）」の合計）が 35.1%となっている。



※「老研式活動能力指標」：高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる尺度。

⑮ 友人の家を訪ねること（問 41）

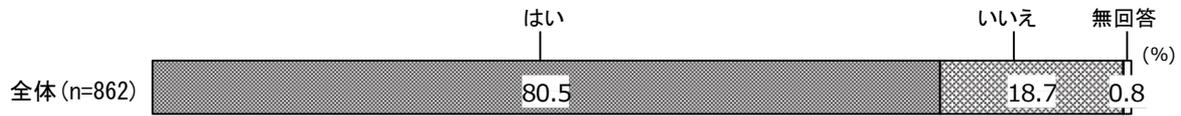
友人の家を訪ねることは、「はい」（訪ねている）が 48.4%、「いいえ」（訪ねていない）が 50.7%となっている。



⑩ 家族や友人の相談にのること (問 42)

家族や友人の相談にのことは、「はい」(のっている)が80.5%、「いいえ」(のっていない)が18.7%となっている。

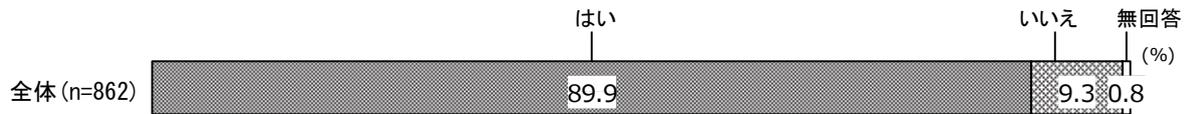
■家族や友人の相談にのること



⑪ 病人を見舞うこと (問 43)

病人を見舞うことは、「はい」(できる)が89.9%、「いいえ」(できない)が9.3%となっている。

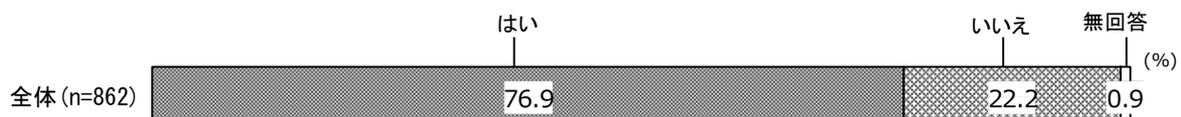
■病人を見舞うこと



⑫ 若い人に自分から話しかけること (問 44)

若い人に自分から話しかけることは、「はい」(ある)が76.9%、「いいえ」(ない)が22.2%となっている。

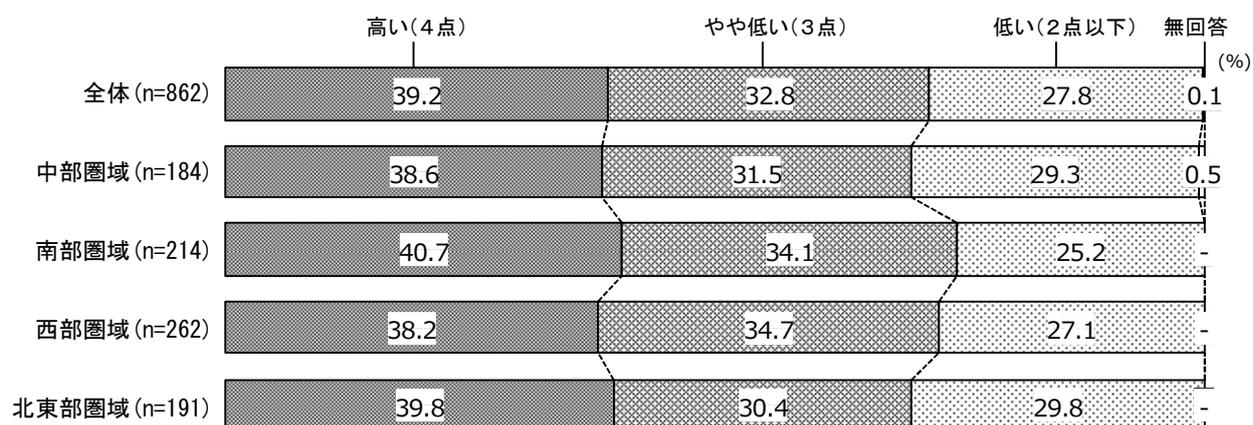
■若い人に自分から話しかけること



⑱ 社会的役割

社会的役割（問 41～問 44 で「はい」と回答した人に 1 点、「いいえ」と回答した人に 0 点を加点）は、「高い（4 点）」が 39.2%、「低い」（「やや低い（3 点）」「低い（2 点以下）」の合計）が 60.6%となっている。

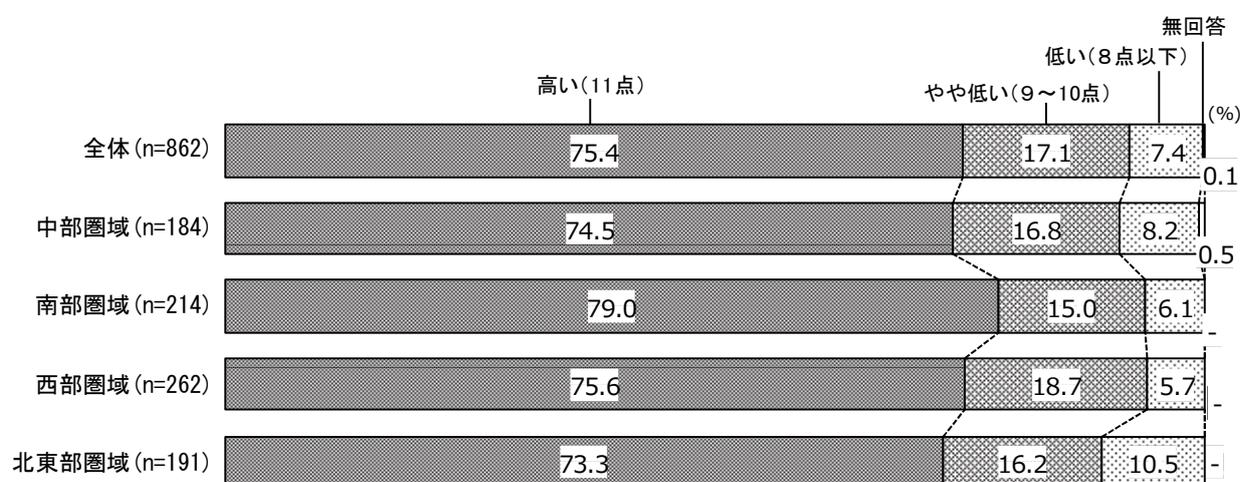
■社会的役割



⑳ 老研指標総合評価

老研指標総合評価（⑨手段的日常生活動作（IADL）、⑭知的能動性、⑲社会的役割の状況の評価項目の合計点（13 点満点）で評価）は、「高い（11 点）」が 75.4%、「低い」（「やや低い（9～10 点）」「低い（8 点以下）」の合計）が 24.5%となっている。

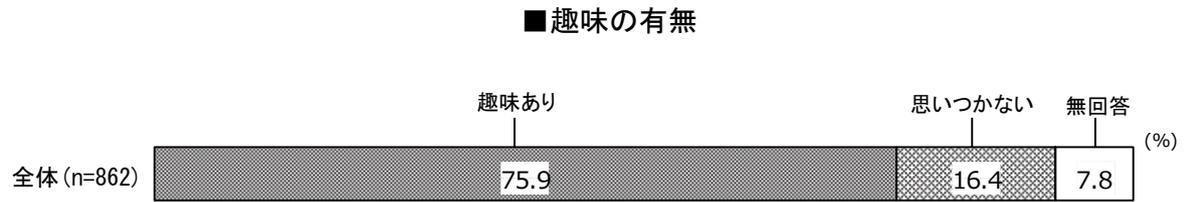
■老研指標総合評価



第2章 各調査の結果

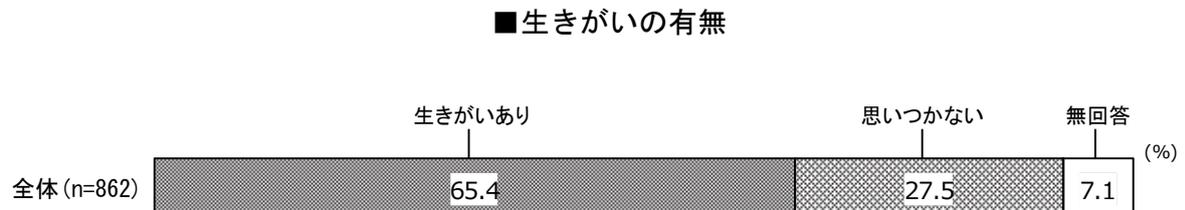
⑪ 趣味の有無（問45）

趣味の有無は、「趣味あり」が75.9%、「思いつかない」が16.4%となっている。



⑫ 生きがいの有無（問46）

生きがいの有無は、「生きがいあり」が65.4%、「思いつかない」が27.5%となっている。

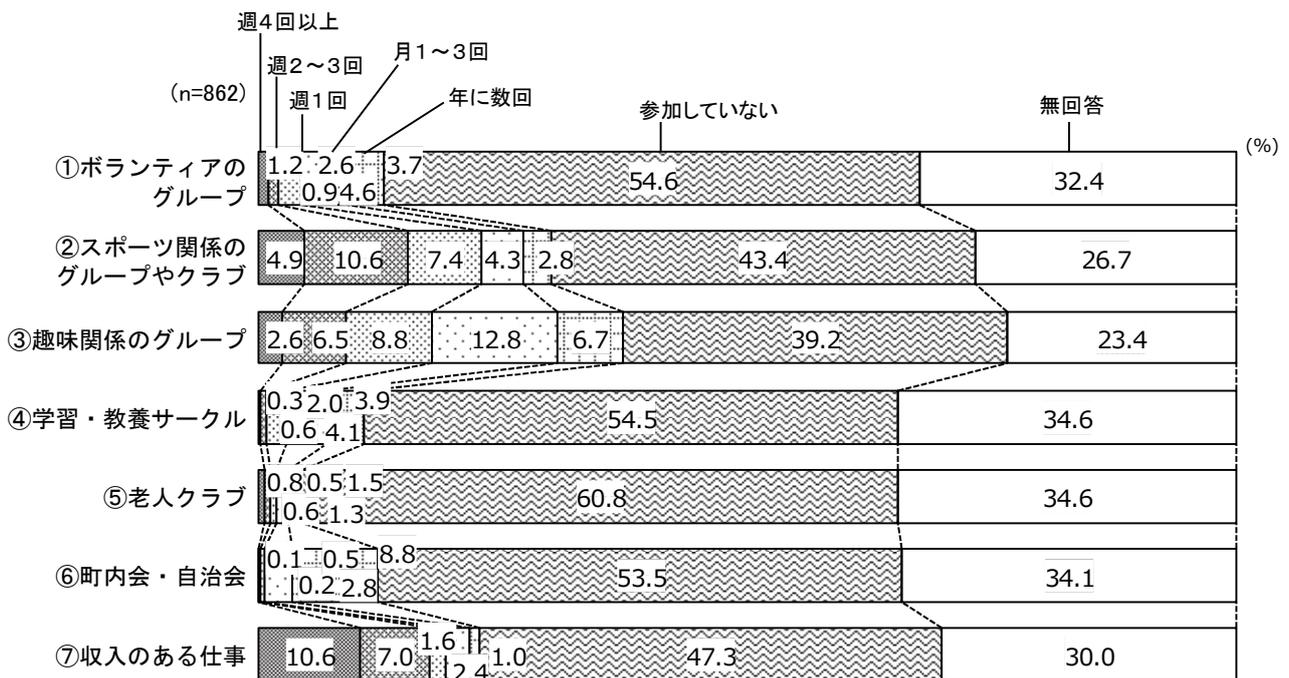


(6) 地域での活動

① 会・グループ等への参加頻度 (問 47)

会・グループ等への参加頻度は、①から⑦のいずれも「参加していない」が最も多くなっており、「参加している」(「週4回以上」から「年に数回」の合計)は、「③趣味関係のグループ」(37.4%)が最も多く、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(29.9%)、「⑦収入のある仕事」(22.6%)と続いている。

■会・グループ等への参加頻度



全 体 (n=862)

	週 4 回 以 上	週 2 ~ 3 回	週 1 回	月 1 ~ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
① ボランティアのグループ	1.2	0.9	2.6	4.6	3.7	54.6	32.4
② スポーツ関係のグループやクラブ	4.9	10.6	7.4	4.3	2.8	43.4	26.7
③ 趣味関係のグループ	2.6	6.5	8.8	12.8	6.7	39.2	23.4
④ 学習・教養サークル	0.3	0.6	2.0	4.1	3.9	54.5	34.6
⑤ 老人クラブ	0.8	0.6	0.5	1.3	1.5	60.8	34.6
⑥ 町内会・自治会	0.1	0.2	0.5	2.8	8.8	53.5	34.1
⑦ 収入のある仕事	10.6	7.0	1.6	2.4	1.0	47.3	30.0

② 地域住民の有志による地域づくりへの参加者としての参加意向（問48）

地域住民の有志による地域づくりへの参加者としての参加意向は、「参加してもよい」（52.1%）が最も多く、「参加したくない」（31.3%）、「是非参加したい」（10.7%）と続いている。

■地域住民の有志による地域づくりへの参加者としての参加意向



③ 地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向（問49）

地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向は、「参加したくない」（58.8%）が最も多く、「参加してもよい」（31.8%）、「是非参加したい」（2.7%）と続いている。

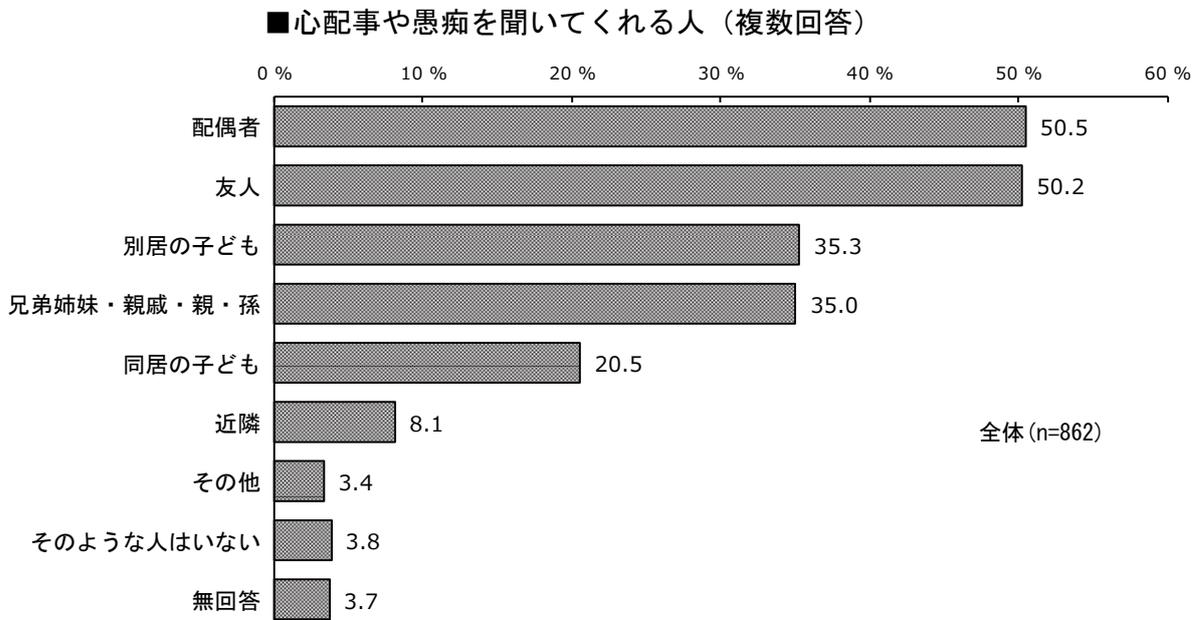
■地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向



(7) たすけあい

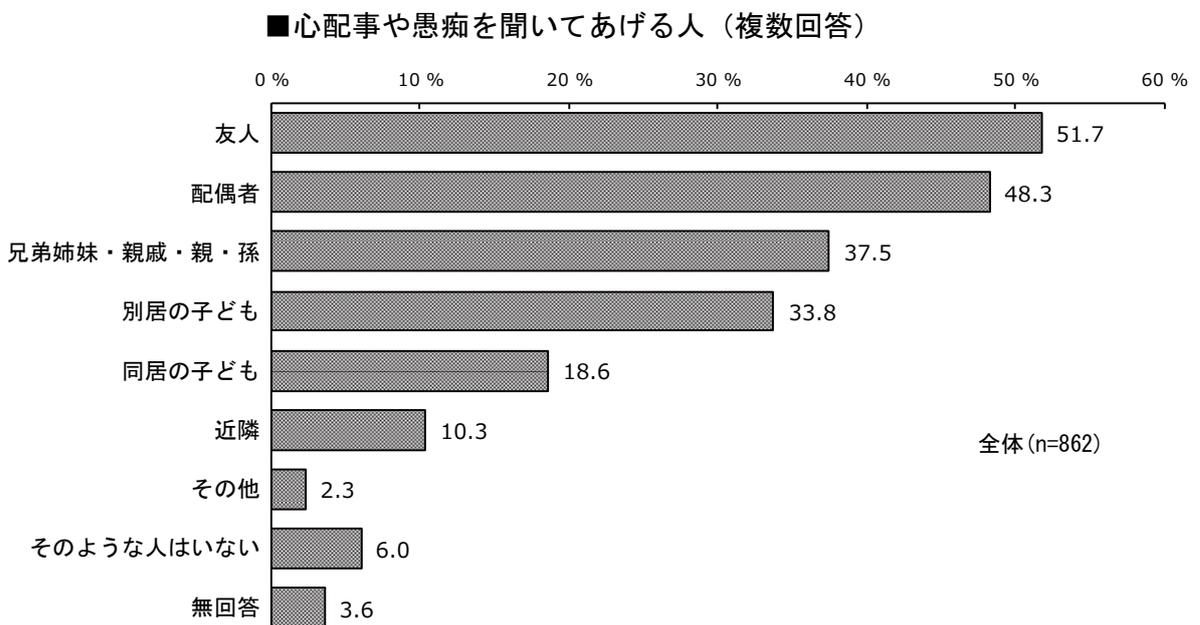
① 心配事や愚痴を聞いてくれる人 (問 50)

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」(50.5%)と「友人」(50.2%)が多くなっており、「別居の子ども」(35.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(35.0%)と続いている。



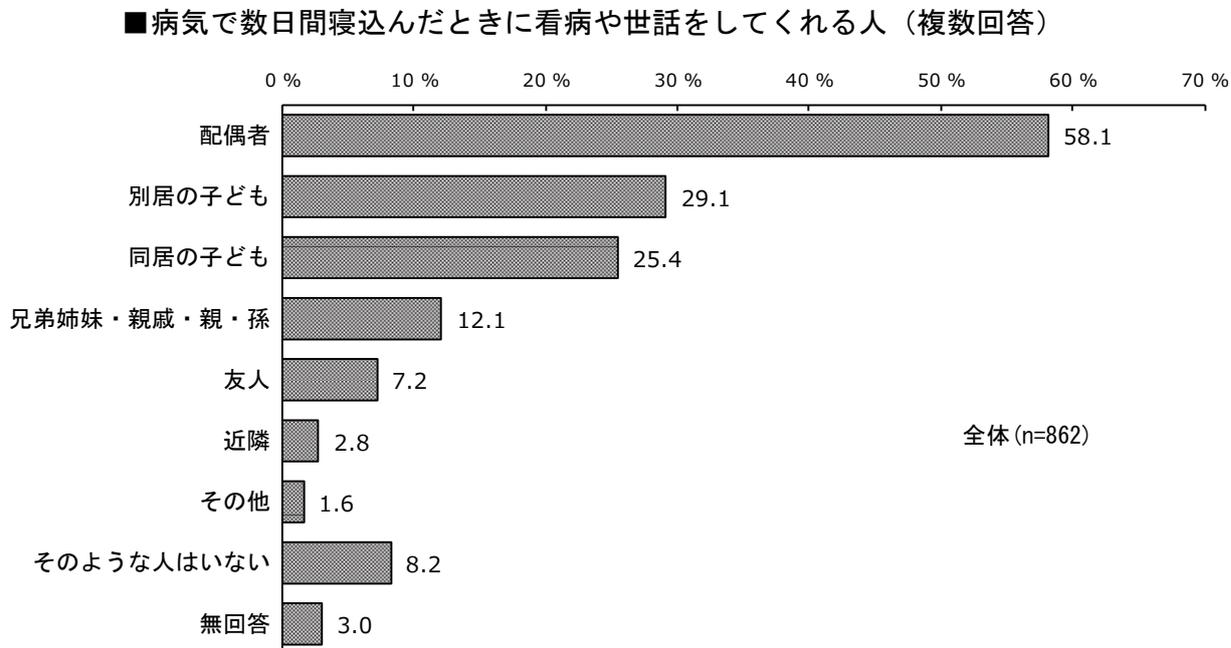
② 心配事や愚痴を聞いてあげる人 (問 51)

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「友人」(51.7%)が最も多く、「配偶者」(48.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(37.5%)と続いている。



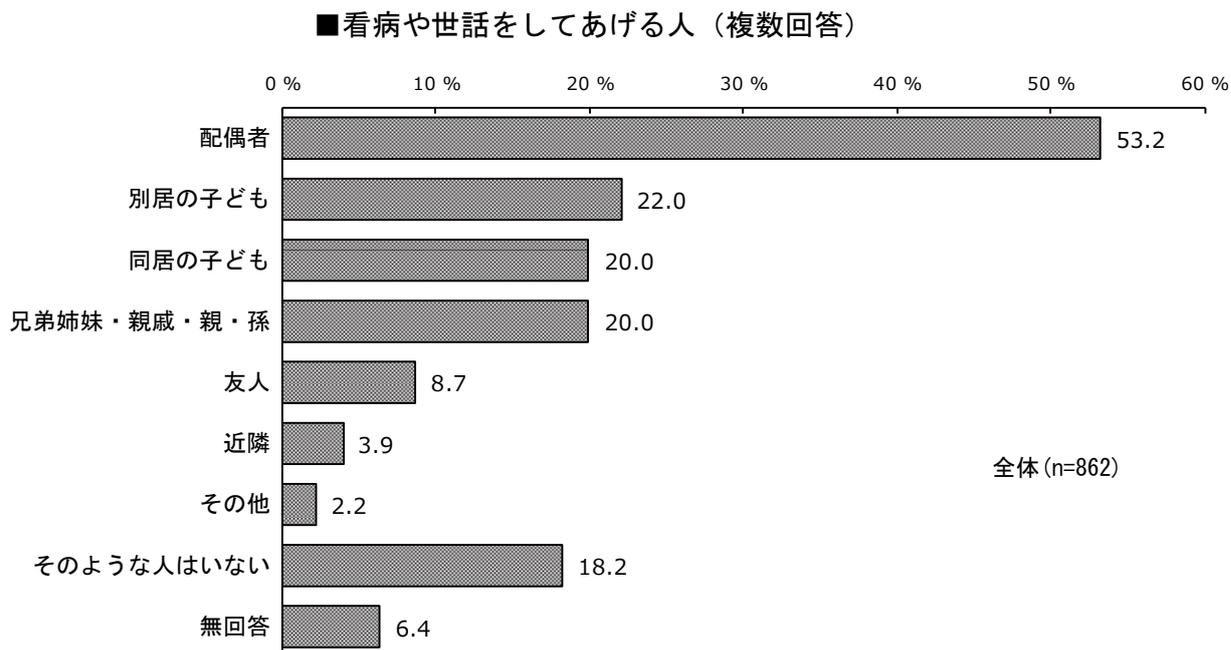
③ 病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人（問52）

病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」（58.1%）が最も多く、「別居の子ども」（29.1%）、「同居の子ども」（25.4%）と続いており、「そのような人はいない」は8.2%となっている。



④ 看病や世話をしてあげる人（問53）

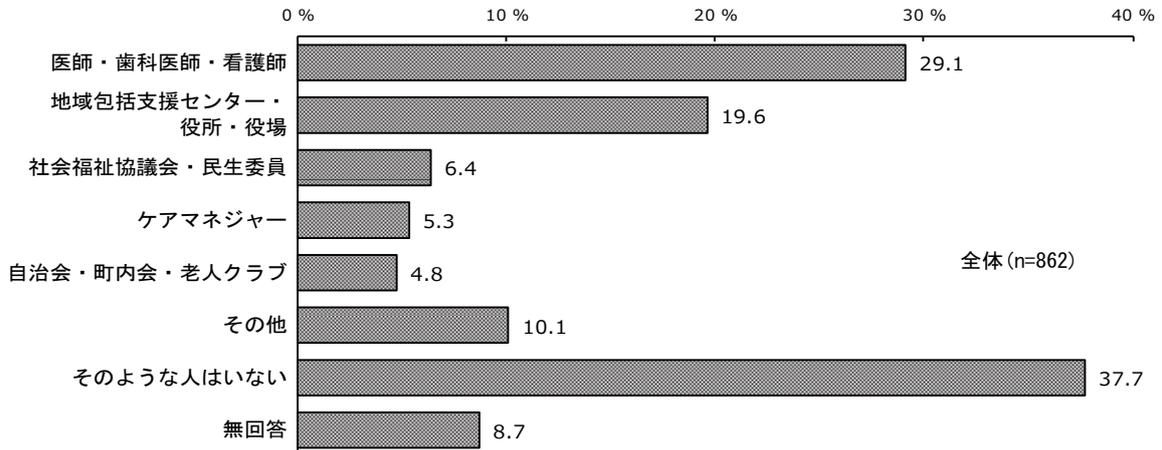
看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」（53.2%）が最も多く、「別居の子ども」（22.0%）、「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（ともに20.0%）と続いている。



⑤ 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手（問 54）

家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」(37.7%) が最も多くなっており、「医師・歯科医師・看護師」(29.1%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(19.6%)と続いている。

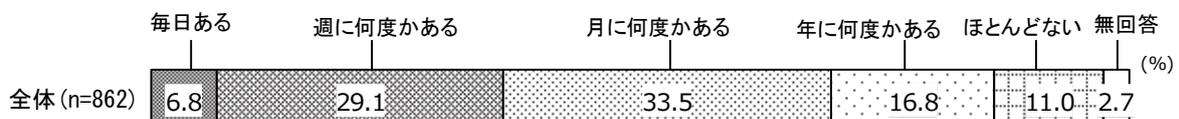
■家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手（複数回答）



⑥ 友人・知人と会う頻度（問 55）

友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」(33.5%) が最も多く、「週に何度かある」(29.1%)、「年に何度かある」(16.8%)と続いており、「ほとんどない」は11.0%となっている。

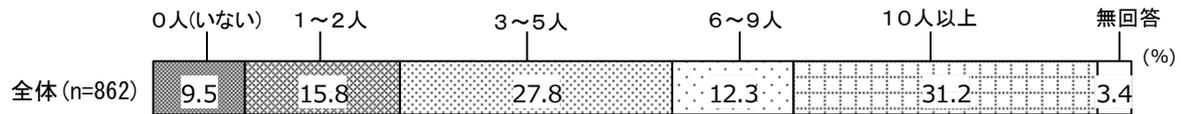
■友人・知人と会う頻度



⑦ 1か月に会った友人・知人の人数（問56）

1か月に会った友人・知人の人数は、「10人以上」（31.2%）が最も多く、「3～5人」（27.8%）、「1～2人」（15.8%）と続いており、「0人（いない）」は9.5%となっている。

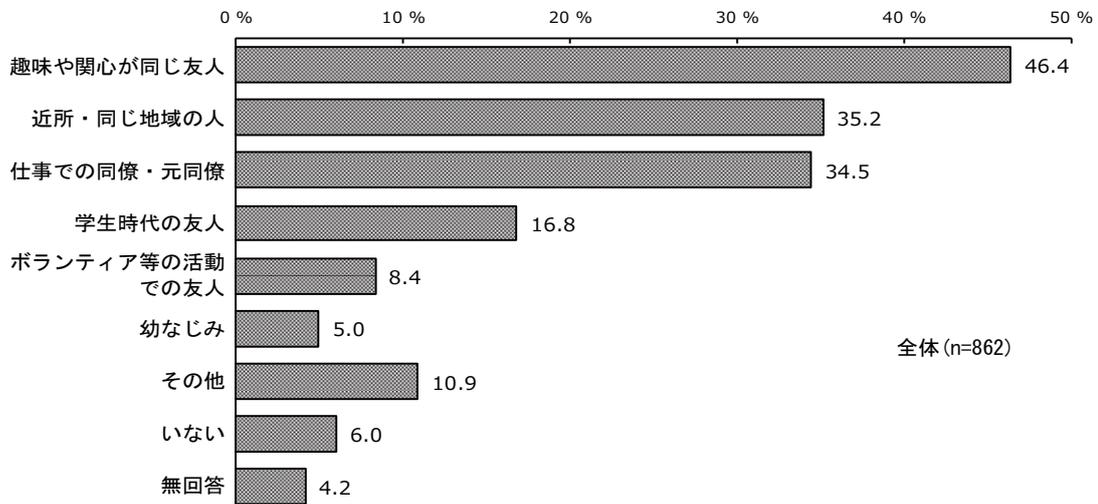
■ 1か月に会った友人・知人の人数



⑧ よく会う友人・知人との関係（問57）

よく会う友人・知人との関係は、「趣味や関心が同じ友人」（46.4%）が最も多く、「近所・同じ地域の人」（35.2%）、「仕事での同僚・元同僚」（34.5%）と続いており、「いない」は6.0%となっている。

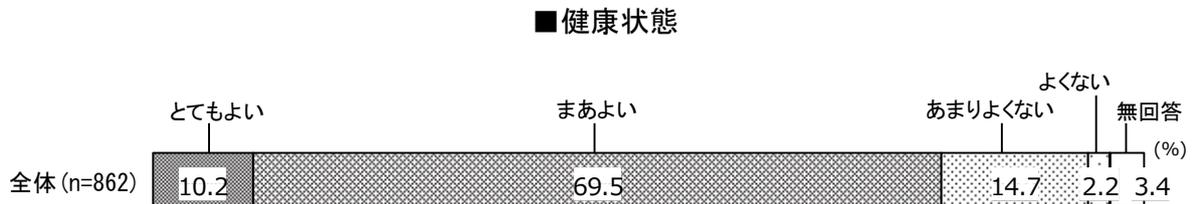
■ よく会う友人・知人との関係（複数回答）



(8) 健康

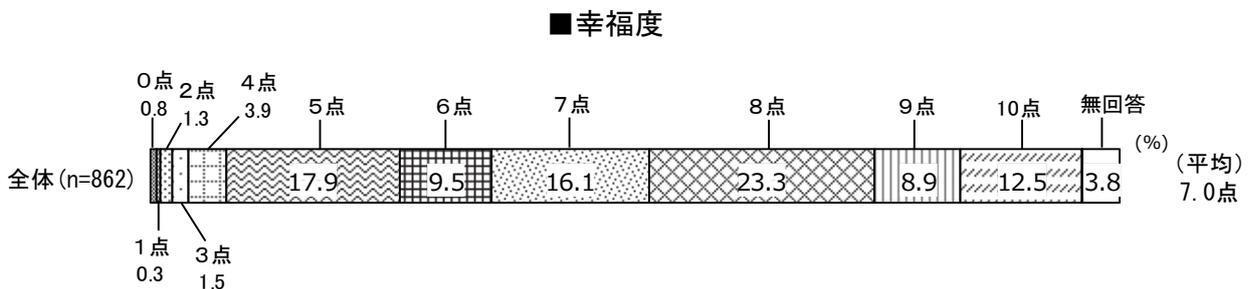
① 健康状態 (問 58)

健康状態は、“よい”（「とてもよい」「まあよい」の合計）が79.7%、“よくない”（「あまりよくない」「よくない」の合計）が16.9%となっている。



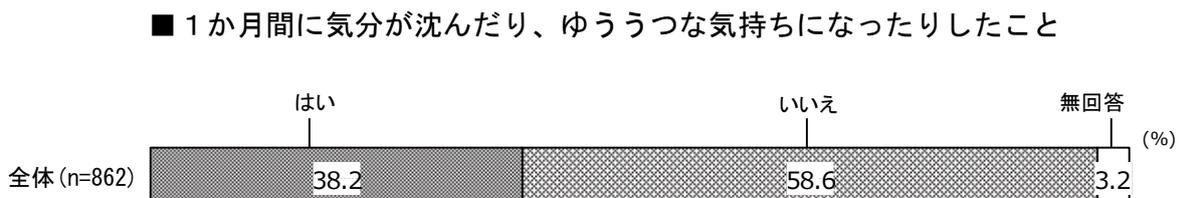
② 幸福度 (問 59)

幸福度（「とても不幸」が0点、「とても幸せ」が10点）は、「8点」（23.3%）が最も多く、「5点」（17.9%）、「7点」（16.1%）と続いており、平均は7.0点となっている。



③ 1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと (問 60)

1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたことは、「はい」（あった）が38.2%、「いいえ」（なかった）が58.6%となっている。



第2章 各調査の結果

④ 1か月間に物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめなかったこと (問61)

1か月間に物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめなかったことは、「はい」(あった)が20.4%、「いいえ」(なかった)が75.9%となっている。

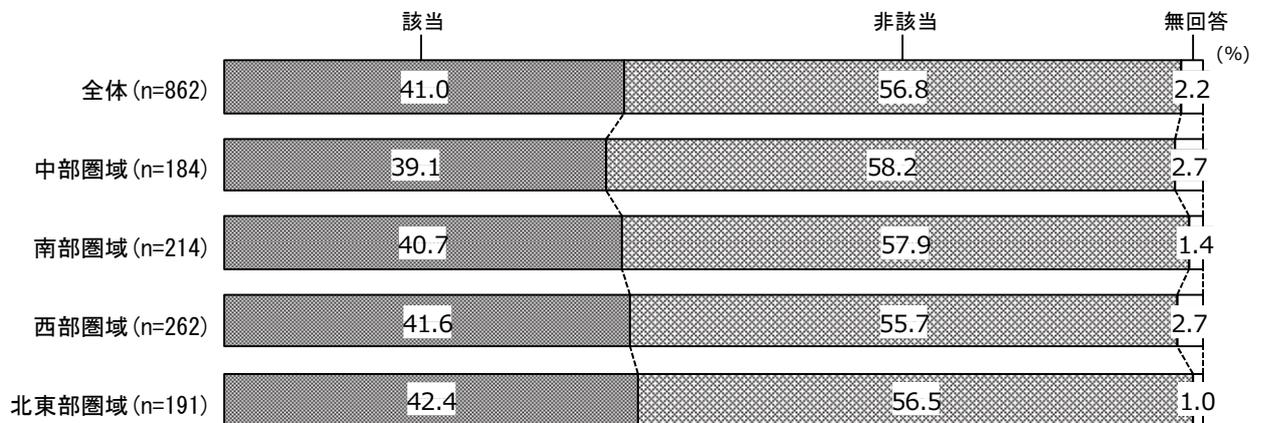
■ 1か月間に物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめなかったこと



⑤ うつ傾向にある高齢者

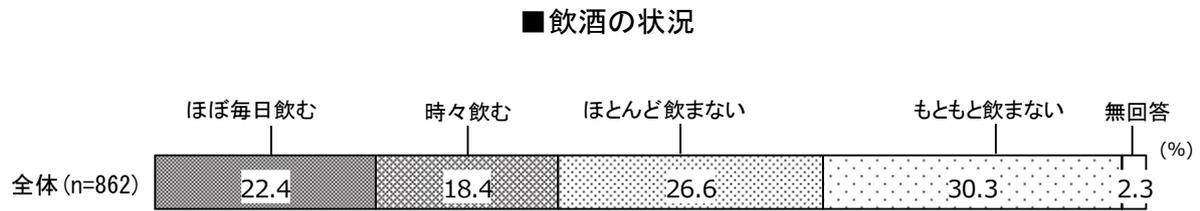
うつ傾向にある高齢者(問60、問61で1つでも「はい」と回答した人)は41.0%となっている。

■ うつ傾向にある高齢者



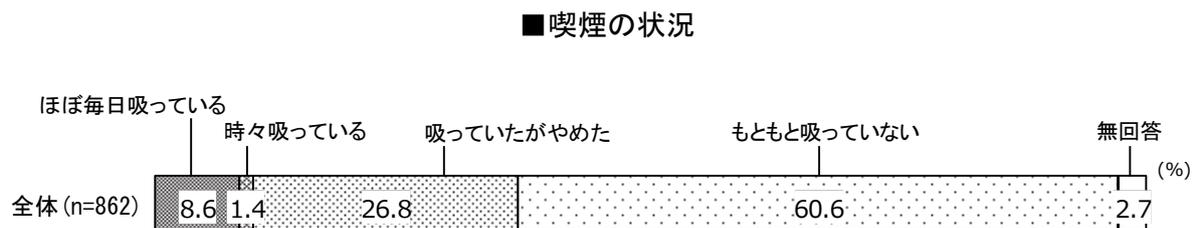
⑥ 飲酒の状況（問 62）

飲酒の状況は、「もともと飲まない」（30.3%）が最も多く、「ほとんど飲まない」（26.6%）、「ほぼ毎日飲む」（22.4%）、「時々飲む」（18.4%）と続いている。



⑦ 喫煙の状況（問 63）

喫煙の状況は、「もともと吸っていない」（60.6%）が最も多く、「吸っていたがやめた」（26.8%）、「ほぼ毎日吸っている」（8.6%）、「時々吸っている」（1.4%）と続いている。



⑧ 現在治療中または後遺症のある病気（問64）

現在治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」（37.1%）が最も多く、「目の病気」（19.3%）、「高脂血症（脂質異常）」「ない」（ともに14.5%）と続いている。

■現在治療中または後遺症のある病気（複数回答）

